

複数タブ制御

概要

同一セッションによる多重操作を制御する。
制御は機能ブロック単位での制御とし、異なる機能ブロック間の同時操作は可、同一機能ブロックの同時操作は不可とする。
多重操作の制御にはterasolunaのトランザクショントークンチェックを利用する。

- [TERASOLUNA - 4.5.1.2.3. トランザクショントークンチェックについて](#)

機能ブロックIDをキーとしてセッション内にトークンを保持し、チェックが指定されている画面では画面で保持しているトークンと比較してチェックを行う。

実装方法

[複数タブ操作制御 対応方法詳細](#) を参照の事。

トランザクショントークン不一致時の挙動

トランザクショントークンが一致しない場合は下記の例外が発生し、共通エラー画面へ遷移する。

例外

- トランザクショントークンチェックでトークン不一致により発生する例外は下記。
 - org.terasoluna.gfw.web.token.transaction.InvalidTransactionTokenException

使用例

Hoge画面でトークンを発行し、Fuga画面でチェックを行う

- Hoge画面のinit()メソッドに対しBEGINを設定、Fuga画面のinit()メソッドでCHECKを設定する
1. タブ1でHoge画面を表示する(トークンが発行される)
 2. タブ2でHoge画面を表示する(トークンが発行され、タブ1で表示時に発行したトークンが上書きされる)
 3. タブ1でFuga画面へ遷移するボタン押下時にトークン不一致により例外が発生し、エラー画面へ遷移する
 4. タブ2でFuga画面へ遷移するボタン押下後にFuga画面が表示される(2.で発行されたトークンと一致)

	時系列			
タブ1	Hoge画面表示OK		Fuga画面表示NG	
タブ2		Hoge画面表示OK		Fuga画面表示OK